

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 末期腎臓病患者の鉄動態と予後』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 腎臓内科 職位・氏名 教授・常喜信彦

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院腎臓内科では、末期腎臓病患者様の鉄の欠乏が、その後の健康状態に与える影響について、またその影響が栄養状態を考慮して判断する必要性がある可能性について検証することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、腎臓病患者様の鉄欠乏状態の正しい把握と鉄補充療法の指標づくりに大きく貢献することが期待されます。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:1992年8月～2020年8月までに東邦大学医療センター大橋病院腎臓内科において、末期腎臓病により維持透析を開始され、2年間経過を診た方となります。この間に透析を開始した方は900名ほどとなり、対象者に該当します。

方法:診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報:透析開始に至るまでの腎臓病の病歴、腎臓病以外の疾患の治療内容、透析を行う直前の採血検査結果、画像検査結果、また、透析開始後の通院状況と健康状態情報

【研究組織】

当院のみで行う研究です。

代表施設名:東邦大学医療センター大橋病院

研究代表医師:常喜信彦 役職:教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。またご本人に代わり親族の方が質問、あるいは研究への診療情報使用について承諾しないことを意思表示することもできます。ご遠慮なくお申し出ください。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 腎臓内科

職位・氏名 教授 常喜信彦

電話 03-3468-1251 内線 7942